

晴ればれ

発行

総合福祉施設 美晴が丘 大分県竹田市直入町大字長湯9067番地4
TEL 0974-75-3333 URL <http://www.miharugaoka.com>
介護老人福祉施設 荻の苑 大分県竹田市荻町恵良原780番地2
TEL 0974-64-6886 URL <http://www.oginoen.jp>

平成 27 年
新春号
【第48号】



社会福祉法人 孝寿福祉会
総合福祉施設 美晴が丘 介護老人福祉施設 荻の苑

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護(ショートステイ)
通所介護(デイサービス)
訪問介護(ホームヘルパー派遣)
居宅介護支援事業所
配食サービス(竹田市委託)
サービス付き高齢者向け住宅「美空の家」
地域交流事業



初春のお喜びを申し上げます！

美晴が丘は、今年15年目を迎えます。荻の苑は、4年目ということで今年も皆様のご協力の下、職員一丸となって地域貢献をしております。今年もどうぞよろしくお願い致します。



も く じ

理事長新春のご挨拶	2
総合施設長新春のご挨拶	3
美晴が丘各サービス室からの新春のご挨拶	4
荻の苑 苑長・各科から新春のご挨拶	5

晴ればれ日記／美晴が丘	6
晴ればれ日記／荻の苑	7
3施設合同研修会・お誕生日おめでとう	8
職員募集・編集後記	8

新春のご挨拶



社会福祉法人孝寿福祉会
理事長 伊藤 恭

平成 27 年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、私たち社会福祉法人孝寿福祉会の運営に対し、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。当法人も皆様方のお力添えをもちまして、無事に新春を迎えることができました事を篤く御礼申し上げます。

さて、今年の世相を表す漢字は「税」と発表されました。昨年 4 月より消費税が 5 % から 8 % に増税したこと、少子高齢化の進む日本では財政再建が喫緊の課題である事を意味した事なのではないでしょうか。昨年末の衆院選挙ではアベノミクスを掲げる安倍自民党の圧勝に終わり、民主党政権時代に比べ株価は上昇を続け、多くの代表的企業は過去最高収益を上げるに至っています。日本経済の再生は国民生活の向上のためにも、医療介護の保険制度を税制面から支えるためにも不可欠であります。しかし、少子高齢化の進む地域で生活している私たちにはどこか遠くの出来事のように感じるだけであります。

一方では、介護報酬の切り下げやご利用者の方々の負担増加の話が新聞事例として漏れ伝わってきております。また、前述の如く経済再生を遂げる事は喜ばしいものではあります。地方での労働力不足の一層の深刻化が危惧されます。地方の実態への一層の注視と有効な施策が望まれます。

しかしながらこのような状況においても、孝寿福祉会は地域での基本的最低限のライフセキュリティーを守っていく責務があります。地域にある社会資源との連携を一層深化させ、役職員一同今年も頑張っていますので、宜しくご支援ご指導の程お願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご多幸と益々のご繁栄をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

平成 27 年初頭

介護老人福祉施設
美晴が丘
みはるかみ



社会福祉法人孝寿福祉会
総合施設長 伊藤 寿和子

皆様、あけましておめでとうございます。

馬車馬のように駆け抜けた2014年。ただ目の前のご利用者のために、法人継続のために、取り組んできた日々でした。昨年より、法人理念を刷新し、ご利用者満足度、職員満足度、地域満足度と共に、経営も盤石になるよう、様々な改革に取り組んでまいりました。

世の中はアベノミクスで人材も家族も大企業や都会に移り住む傾向にあり、地元は更なる医療介護制度改革、報酬減額の為、人材確保、質の向上に頭を抱え、しら真剣走りながら考える日々が続きます。当法人も、様々な困難に遭遇しましたが、法人役員、美晴が丘、萩の苑職員が、一丸となり、「美晴が丘ひばり会」「ゆのはな」はじめ地域の皆様、医療介護福祉連携の和に支えられながら、問題分析、課題解決、業務改善に取り組みました。

年末には、医療介護福祉三施設合同研究発表会で連携を深め、懇親会で心通わせました。職員の結婚や出産の報告も次々に続き、残ってくれた人財の愛情と素晴らしさに感謝と至福の年越しとなりました。

さあ今年、15年目、法人存続、成長に向けての節目の年です。

大正、昭和、平成の激動の時代を、真摯に生き抜いてこられた 私たちの大先輩の命を与る(あずかる)覚悟をもって、継続して課題に取り組んでまいります。

看取り、介護予防、マニュアル改正、法令遵守、説明と同意、職員共育、様々な課題が満載です。私たちは共に学びながら、前向きに ゆとりを大切に、笑顔の力でご利用者、地域、職員と支え合います。

24時間365日、災害時にも皆様の安心を守り、選ばれるサービスをもって・・・

本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。



* 施設サービス室

室長 工藤 広美

新年あけましておめでとうございます。

施設サービス室の目標は今年度も引き続き自立支援の理念に基づく「待つ介護」を実践していきたいと思っております。ひとり、ひとりが出来ることを続け生活に楽しみが持てる毎日が送れたらと思っています。利用者と職員の笑い声がいつも絶えないような活気あふれる居場所作りを目指して頑張りますので、よろしくお願いいたします。

* 看護サービス室

室長 原田 幸子

明けましておめでとうございます。

昨年は体調不良や怪我などで入院された方もいらっしゃいましたが、大きな感染症発生もなく無事に過ごす事ができました。これもひとえにご家族様のご協力をいただいたからだと思っております。感謝申し上げますと共に引き続き水際対策に力を入れていきたいと思っております。

施設看護はご利用者に寄り添う事が大事です。ご利用者の中には老いていくご自分がわからない方もいらっしゃいます。歳を重ねる毎に老いる身体の変化はどなたも一緒です。

今この時間を大事に一日でも長く安心して、過ごして頂けるように看護師として出来ることを他職種協働で頑張っていきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。

* 在宅サービス室

室長 吉野 勝代

新年明けまして、おめでとうございます。

ご自宅での生活が続けられるようにお手伝いさせていただきます。『楽しみ』と『安らげる』場所になれるように努力していきます。今年も宜しくお願いします。

* 事務支援室

室長 羽田野 陽子

新年明けましておめでとうございます。

毎年、「今年こそは」と思いながらバタバタしているうちに時間が過ぎて行っているように感じられてなりません。毎年、反省しきりです。今、目の前にあることにしっかり取り組んでいくことで、日々の積み重ねを大切にしていきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。

食事サービス室

室長 大窪 亜樹

新年明けましておめでとうございます。

食事サービス室は、昨年11月より給食業務を外部の給食会社に委託化しました。新しい体制となり、まだ間もないですが、ご利用者の笑顔につながるような食事の提供をさせて頂きたいと思っております。

また、季節に応じた食事の提供や様々な企画・行事を通して、御利用者により楽しみ満足して頂けるよう努力していきたいと思っております。

今年も食事サービス室をよろしくお願いいたします。



新年おめでとうございます。

旧年中は、ご家族、地域の皆様、関係施設、業者の皆様には、たくさんのご支援をいただき、施設運営を行うことができました。ありがとうございました。昨年立ち上げから3年目ということで、区切りの年と意識して1年間を送ってきました。事業計画に掲げた、ご利用者の処遇改善、職員個々の成長、部署間の連携強化、地域貢献、収支バランスの改善等の目標に取り組んできました。その中で施設としては苦渋の選択でありましたが、厨房が外部委託となり、職員には大きな負担をかけてしまいました。年度末に向けて、

そして27年度においても目標の達成に取り組み、実現させることで恩返ししていきたいと思っています。

今年4月には介護保険制度の大きな改正があります。施設においては更なる努力を求められる年となりますが、職員一同一致団結して、ご利用者、ご家族、地域の皆様が笑顔で過ごせるよう取り組んでいきたいと思っています。施設に、そしてもう新米と言えなくなった苑長にも、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

苑 長 工 藤 朋 子

*** 事務支援科**

科 長 清 良 聡 史

「三回目の新年を迎えて」

みなさま、明けましておめでとうございます。

昨年は、気づきを形にと思い、色々な事を考えましたが、形にしていけたのは一部だけで、なかなか思うようにはいかない一年だったと感じます。しかし、少しずつではありますが、前へ進んで行く事務支援科であるように努めてまいりました。もちろん、いつも笑顔の事務支援科を心がけてまいりました。職員もそれぞれが力をつけ、自分の役割やポジションをしっかり理解し、責任感ある取り組みを行えるようになりました。

今年は、自分達が更に専門性を高め、力を発揮出来るような環境を作って行きたいと思ひます。また、昨年に引き続き、気づきを形にして行き、ご利用者へのサービスの向上に努めること。また、自分達の業務内容の改善に取り組んで行きたいと思ひ次第です。ご利用者そして職員の、荻の苑ライフが「笑顔」でいっぱいになるよう、前へ進んで行きたいと思ひます。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

*** 介 護 科**

科 長 麻 生 睦

新年明けましておめでとうございます。

荻の苑も開設から4年目を迎えることができました。昨年は、介護職員の人数が少なくなり、いろいろと不備がありご迷惑をおかけしました。さらに利用者処遇と業務効率という相反することについて模索した一年でもありました。介護科としては、ご利用者が安心して暮らしていける事をサポートすることが使命であると考えています。どうぞ、本年においてもご家族をはじめ、地域の皆さまの声を聞かせて下さい。

本年も宜しくお願ひ致します。

*** 看 護 科**

科 長 堀 直 美

新年おめでとうございます。昨年は私にとって激動の年でした。前看護科長の退職により看護科長になり、それまでの流れを引き継いで業務を行っていったのですが、他部署のスタッフからいろいろな意見があり、話し合いを続けていました。その中で、はたと我に返り、私は科長で、科長として大人の対応をしなければ、と気付きました。そのことが自分の考え方や行動を考えるきっかけになりました。

今までは病院で、自分たちが中心で働き、自分たちの考えを推し進めてきましたが、福祉施設では、ユニットが中心であること、利用者の人生を一番に考えることなど、今までの考えを改める必要がありました。自分たちは縁の下の力持ち的役割を果たしていけないといけなると考えを変え、もっとユニットに協力していくべきだと思ひ、行動に移して行きました。そんな中退職者があり、介護職員の人数が少なくなり、苑全体が協力してひとつにならないといけないう状態になりました。私たちはもちろんですが、事務支援科、栄養科の職員も協力し業務を行って行く中で、苑全体がまとまってくる様子が手にとるようにわかりました。自分はまだまだ、今も業務改善を考えたり最中ですが、今年ももっといろいろな研修に参加し学んで、まとまっている看護科を、そして荻の苑を、お見せできるようにしたいです。今年もよろしくお願ひいたします。

*** 栄 養 科**

科 長 進 文 乃

新年おめでとうございます。

昨年11月1日より直営給食から外部委託給食へ体制を大きく変え、栄養科にとって“変化の年”となりました。直営だからこそできていた事ももちろんありますが、外部委託だからこそできることもあると思ひます。今年はそのような可能性を大きく広げていけるよう取り組んで行きます。新体制となり、まだまだ2ヶ月余りです。これから1年を通して沢山の行事が待っており“調整の年”となることでしょう。これまでも、これからも、ご利用者に安全で美味しいご飯を食べてもらう事が1番の目的であり、更に、喜びや楽しみを味わえる季節感のある食事になるよう取り組んで行きます。

本年も宜しくお願ひ致します。



♡紅葉見物♡

11月10日、15日に各地区で紅葉狩りに出かけました。場所は、久住のいわさき道路や旧温見小学校跡地、神角寺溪谷などでしたがあまり寒くもなく、絶好の日和でした。

真っ赤な紅葉、かえでの葉が色づいている様子を見て「まー美しいなー」と自然に笑みを浮かべていらっしかったです。

機会があればまた是非外出して季節を感じてもらえればと思います。



♡クリスマス会♡



12月18日、くろたけ地区でクリスマス会をしました。おやつに食べるケーキを自分達で飾り付けし、「あはは、こんなかんじで良いんじゃないだろうか?」「美味しく出来てると良いけどな〜。」「早く食べたいな。」と皆で笑いながら行ないました。

おやつの中には、「こら美味しいな〜。」「自分で作ったき満足じゃわな。」と皆満面の笑顔で食べ、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

♡もちつき♡

美晴が丘で毎年恒例になっている餅つき大会が12月27日に行われました。第14回目の餅つき大会になります。今年も何種類かの味の違う餅ができあがり、みなさんおいしそうに召し上がっていらっしかったです。日頃、少食なあるご利用者様が、お餅にかぶりつき6個も召し上がっていたり、一緒にお餅をついたり、皆さん楽しく過ごされていました。今年も美晴が丘のひばり会の皆様のご協力のもと、楽しく餅つき大会を行う事ができました、ありがとうございました。



♡亥の子♡



11月13日になおいり保育園の園児さんたちによる亥の子がありました。

事前に事務局長や相談員が、藁で振り子を作り年長の子どもさんたちが「今夜の亥の子いわんものはおにうめ、じゃうめ、つのはえたこうめ…」と大きな元気のある声で藁を床にうちつけていました。

子どもさんたちのかわいらしさに涙する利用者の方々でした。



♡コールマミー♡

(合唱ボランティア)

11月25日コールマミー直入の方々が、明るく楽しい合唱を披露してくださいました。

ふるさとなどの童謡等どなたも思わず口ずさむような歌を利用者の方々と一緒に歌われ、日頃は声の小さな方が一緒に歌う姿が見られました。



コールマミーの皆さん、お忙しい中ありがとうございました。又お待ちしております。

新人職員紹介



名前：坂元 泰子

所属：在宅サービス室

出身：別府市

【抱負】利用者の方々が毎日笑顔で過ごしてもらえるようにお手伝いできればと思います。私自身も覚えることが多く大変ですが一緒に笑いあえる雰囲気づくりをしていきます。よろしくお願いします。

♥お神楽の舞いこみ♥

11月3日、この日荻町は「荻ふるさと祭り～とまと天国～」に染まりました。荻の苑の前にある荻健康福祉エリアでは朝から色々な催し物があり、たくさんの方が来られすく賑わっていました。毎年行われるこのお祭りの日に、荻の苑では何をするかというと、お祭りで出演されている神楽座の方々には舞い込みに来て頂いております。施設のすぐ目の前であるお祭りですが、入居者のみなさんにとっては出向いて外で過ごすことはとても大変なことで、それが出来る方はほんのわずかなのです。そこで、荻の苑家族会と協力して、毎年出演されている神楽座のみなさんに舞い込みに来て頂き、入居者のみなさんに少しでもお祭りを感じて頂ければと思い企画しています。今回来てくれた神楽座は、地元荻町田代地区で伝承されている、「田代神楽」の方々で、演目は、



「柴曳ぎ」を舞っていただきました。「田代神楽」さんは御嶽流岩戸神楽を継承し、とても勇壮な舞をされる神楽座です。入居者には、若い頃にこの「田代神楽」に所属されていたり、同じ地で生まれた時から身近にある、慣れ親しんだ伝統芸能であったりする方もいらっしゃる、嬉しさのあまり涙される方も少なくなかったです。神楽太鼓の音色に心弾ませ、お祭り場に行ったこと、荒神に追いかけれ怖い思いをしたこと、幼い頃のことを入居者の方それぞれ思い出したのではないのでしょうか。この日の荻の苑は、嬉し涙の笑顔でいっぱいになった一日でした。

田代神楽のみなさん、家族会のみなさん、本当にありがとうございました。



の苑の玄関にお目見えしました。入居者の方も、ご家族の方が門松を作っているのを、お手並み拝見と言わんばかりに、見学に来ていました。外は大変寒いので玄関の中からゆっくり見学されていました。門松作りは下準備が一番大切で手間がかかります。完成時の全体のバランスを考え竹を切り、松や南天を準備し、他にもたくさん必要な物があって、とにかく時間がかかる物なのです。年越しに歳神様をお迎えして、お正月を迎えることができました。家族会のみなさん、そしてボランティアで来てくださった菅さん、寒い中本当にありがとうございました。

の苑の玄関にお目見えしました。入居者の方も、ご家族の方が門松を作っているのを、お手並み拝見と言わんばかりに、見学に来ていました。外は大変寒いので玄関の中からゆっくり見学されていました。門松作りは下準備が一番大切で手間がかかります。完成時の全体のバランスを考え竹を切り、松や南天を準備し、他にもたくさん必要な物があって、とにかく時間がかかる物なのです。年越しに歳神様をお迎えして、お正月を迎えることができました。家族会のみなさん、そしてボランティアで来てくださった菅さん、寒い中本当にありがとうございました。

♥家族会門松作り♥



12月17日、今年も家族会とボランティアの方々で門松作りが行われました。毎年立派な門松を作ってくださっているのですが、昨年にも負けず劣らずの立派な門松が荻

の苑の玄関にお目見えしました。入居者の方も、ご家族の方が門松を作っているのを、お手並み拝見と言わんばかりに、見学に来ていました。外は大変寒いので玄関の中からゆっくり見学されていました。門松作りは下準備が一番大切で手間がかかります。完成時の全体のバランスを考え竹を切り、松や南天を準備し、他にもたくさん必要な物があって、とにかく時間がかかる物なのです。年越しに歳神様をお迎えして、お正月を迎えることができました。家族会のみなさん、そしてボランティアで来てくださった菅さん、寒い中本当にありがとうございました。



♥年末年始♥



荻の苑の年末年始はとても賑やかでした。



12月25日は、例年通りクリスマスケーキのデコレーションをご入居者と一緒に行い、いただきました。フルーツたっぷりのクリスマスケーキを幸せそうに口

いっぱい頬張り、召し上がっていました。



12月28日は家族会主催のお餅



つき大会がありました。たくさんのご家族が参加してくれました。年末のお忙しい中、本当にありがとうございました。お餅つき隊とお餅丸め隊に分かれ、あっという間に立派なお餅が完成し、入居者にもつき立てのお餅を召し上がっていただきました。「おいしい!」と普段は少食の入居者の笑顔がとても素敵でした。

元旦は新成人の佐田が振袖姿を披露し、お正月を感じてもらいました。今年も特設荻の苑神社へは入居者、ご家族、職員が参拝し大賑わいでした。荻の苑神社へ参拝すると振る舞われる栄養士特製の甘酒は今年も大人気でした。正月の3日間は、おせち料理やお鍋パーティーなどの行事食を行い、見て楽しい、食べておいしい食事でした。

素晴らしい2015年のスタートを切ることができました。今年も荻の苑を宜しくお願い致します。



3 施設合同研修会



11月29日(土)に今回初めて医療法人『孝寿会』と社会福祉法人孝寿福祉会の『荻の苑』と『美晴が丘』合同の研修会を開催しました。

各施設の代表者が、それぞれの現状、取り組みをスライドを使用しながら10分間という短い時間でありましたが力強く、又熱意のある発表でした同じ法人ではありますが互いに知りえない部分もあり、再発見でき、刺激しあえればと思います。竹田市の地域に密着した施設であり、より地域に貢献してまいります。

お誕生日 おめでとう



美晴が丘・荻の苑では、入居者の方や職員と、ご家族とともに、個別のお誕生会をしています。



11月生まれ	高橋 フジ子様	昭和8年11月9日	満81歳
	大久保 琴子様	大正14年11月12日	満89歳
	羽田野 正昭様	大正11年11月20日	満92歳
12月生まれ	徳永 明様	大正12年12月8日	満91歳
	後藤 英敏様	大正13年12月17日	満90歳
	進 スエヨ様	大正14年12月21日	満89歳
1月生まれ	丸山 巖様	昭和2年1月1日	満88歳
	秋岡 フユ子様	昭和4年1月1日	満86歳
	菅 和己様	昭和13年1月12日	満77歳
	佐々木 ヒサコ様	大正10年1月31日	満94歳
12月生まれ	下城 光子様	昭和3年12月12日	満86歳
1月生まれ	後藤 静様	大正9年1月1日	満95歳
	菅 アイ様	大正6年1月8日	満98歳

職員募集中

- 介護員(正職員、パート)
- 看護員(正職員、パート)

施設見学(美晴が丘、荻の苑)随時受付中

- ・パートは勤務時間等相談可
- ・応募はハローワークを通して



社会福祉法人 孝寿福祉会

TEL: 0974-75-3030

URL <http://www.miharugaoka.com>

(担当者: 事務局長 向 寿雄)

編集後記



平成26年は2月から何度も大雪に見舞われ、夏は太陽の出番が少ない日々となり12月には早々と雪が降るといった1年間でした。春夏秋冬が良き日であり、充実した日々が過ぎますように。と職員一同心よりお祈りいたします。

広報班

■監修	穴見久美子
■班長	大野由佳里
■班長代理	筑紫 恭子
■班員	芝野津美子
	羽田野ちはる
	佐藤 美恵
	(荻の苑) 鞭馬 千鶴